

## 岡山県忠魂碑等の継続的 維持管理に向けての勉強会

岡山県偕行会会長

永岑 富彦 陸自66

はじめに

4月上旬、逢沢一郎代議士事務所から、『岡山県忠魂碑等の継続的維持管理に向けての勉強会』の案内状が届いた。案内状の内容は、次のとおり。「岡山県偕行会永岑会長はじめ会員の方々により、岡山県下の『戦没者の忠魂碑等の現況調査』を行い、470基を超える管理状況確認調査をデータとして整備されております。

経年劣化による補修や樹木伐採の必要性や担い手の継承等、忠魂碑等が末永く維持管理されるためには、

国県市町村、各種団体、地元地域住民との連携や協力が不可欠であります。

つきましては、下記日時にて、忠魂碑等の継続的維持管理に向けての経緯や現状と今後に向けての課題共有を含め、意見交換勉強会を計画させて頂きました。

ご多用とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。…

(以下略)

### 1 勉強会計画の経緯

昨年末以降、数度に亘り、逢沢一郎代議士（『英霊にこたえる会』岡山県本部会長）から、岡山県偕行会の現況調査について、称賛と慰労が伝えられ、勉強会開催を検討している旨の連絡を頂いた。

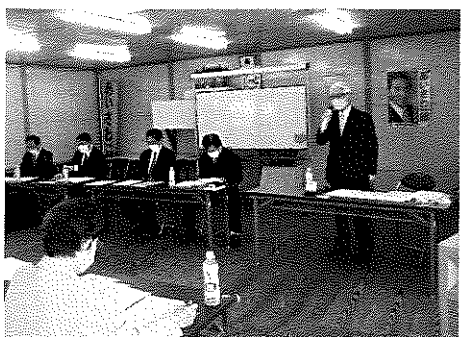
日頃から、機会を求めて岡山県偕行会のホームページに、現況調査結果である「忠魂碑等の細部データ」を掲載している事をPRしているが、この度の勉強会開催の申し出の直接の動機として思い当たる節は2件ある。

まず一つは、『英霊にこたえる会』岡山県本部の運営委員会で、次の事を逢沢一郎会長に伝えた。

即ち、NHK放映予定番組「クローズアップ現代プラス」タイトル「考えよう平和のこと 戦後75年を迎えて」の制作に当たり、岡山県偕行会として取材協力し、特に忠魂碑等の現況について情報提供している件を説明した。

二つ目は、拙稿「厚生労働省の民間建立戦没者慰霊碑等の維持管理施策と岡山県偕行会の活動」掲載の「偕行」（令和2年3月号）を、『英霊にこたえる会』岡山県本部、岡山県遺族連盟、護国神社等関係団体に寄贈し、記事の内容を説明した事である。

## 2 勉強会の実施状況



勉強会の会場

(1) 日時・場所

4月26日10時30分から約1時間30分・あいさわ事務所

(2) 参加団体等（参加者20数名）

岡山県偕行会（会長、山根理事）の他、厚生労働省事業課長補佐、財務省岡山財務所長、岡山県保健福祉課、岡山県議会議員、同議員、岡山市議会議員、岡山県遺族連盟、岡山市社庁、岡山県護国神社、岡山県隊友会、岡山県郷友会及び関係町内会、老人会等

(3) 会次第

① 開会挨拶及び国外の政府建立の慰霊碑等の紹介 逢沢一郎衆議院議員  
② 挨拶 岡山県議会議員（岡山県戦没者顕彰会会長）

③ 岡山県内忠魂碑等の現況報告 岡山県偕行会会長  
④ 国内民間建立慰霊碑移設事業報告 厚労省事業課長補佐

⑤ 意見交換

## 3 偕行会からの勉強会の論点提示

(1) 「現況調査」と「維持管理施策」に区分して、事前にそれぞれにおける論点を主催者側と調整し、当日は、偕行会の立場を明確にしつつ、プ

リーフィングを実施するとともに、意見を陳述した。

(2) 「現況調査」の論点

偕行会の調査データと市町村担当の調査データを対比し、問題点を明らかにするとともに、改善のための偕行会と市町村との連携要領を提示する。

(3) 「維持管理施策」の論点

ア 厚労省の補助金交付事業の細部及び実績を明らかにし、その問題点を検討する。  
イ 偕行会の調査で判明した市町村等の施策の現況、特に維持管理上好な施策を明らかにし、今後の維持管理の方向性を検討する。

## 4 参加所見

(1) 逢沢一郎代議士事務所が、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、本勉強会を計画・実施された熱意と実行力に敬意を表するとともに、岡山県偕行会の活動を報告する機会を与えて頂き感謝を申し上げます。

(2) 参加者の活発かつ忌憚のない意見交換により、官民一体となった忠魂碑等の維持管理のための大きな一歩を踏み出したという思いを強くした。

(3) 国のため命を捧げた戦没者の慰霊顕彰のための忠魂碑等は、全面的に国が維持管理すべきで、被害者である遺族にそれを依存するのは筋違いであると強く主張した遺族連盟の代表者の言葉は、大きな警鐘となった。

(4) 厚労省の事業報告で、平成28年度から開始した補助金交付事業が、年間予算約1200万円に対し、実績が年間平均約50万円という隔たりがあることを確認した。

また、補助金交付の対象が、碑の移設又は埋設等とあるが、補修を含んでいないことに対して、本事業の目的の戦没者の慰霊や住民の安全確保に照らし、合目的でないことを強く指摘した。

特に、埋設は、大東亜戦争終戦直後、GHQの指令で碑を埋設した悲惨な歴史的事実に照らし、御遺族や建立に尽力された住民の方々々に思いを致すと、到底容認出来ない。

(5) 県及び市町村に対しては、厚労省の本事業の補助金交付要綱で、申請手続き上の県知事及び市町村長の役割が明示されているにも拘らず、県及び市町村の所掌業務の中に該当項目がないこと、そして厚労省に報

告した碑等の状況調査票を公開して  
いないことが、碑等の維持管理推進  
上の大きな問題点であることを指摘  
した。

(6) 岡山県偕行会の忠魂碑等の現況  
調査の成果について、多くの参加者  
から慰労と称賛の声を聴くことが出  
来、地域への貢献を実感するととも  
に、今後の活動への大きな励みとな  
ることを確信した。

一方、偕行会の立場・役割を弁え、  
関係機関・団体等の協調態勢への配  
慮の重要性を再認識した。

現在までの現況調査の反省事項と  
しては、厚労省の基準（碑等と敷地  
に区分し、それぞれ「概ね良好」「不  
良」の評価尺度）を考慮し維持管理  
に焦点を当てた調査及び結果のデー  
タ整備が、未だ統一不十分である。  
勉強会における現況報告に際して  
は、碑・塔のみならず、厚労省の調  
査対象に含まれていない神社・社・  
祠は、見落としがちではあるが、顕  
彰施設全体の一割以上を占めてお  
り、維持管理上重要であることを強  
調した。

時間の制約上、忠魂碑等の維持管  
理の具体的な事例まで踏み込んだ現  
況調査結果の報告までに至らず、今

後の勉強会の課題である。

## 5 岡山陸軍墓地参拝

勉強会終了後、個別に厚労省の課  
長補佐と意見交換の際、陸軍墓地の  
整備に国の予算を執行していること  
が話題となり、課長補佐から岡山陸  
軍墓地の現状を知りたい旨の申し出  
があった。急遽、自分が運転する車  
で、会場から約30分の陸軍墓地を案  
内・参拝して、整備中の道路・作業  
中の外柵沿いの伐採樹木等を確認し  
た。その際、現地の忠魂碑・慰霊碑  
（4基）についても、維持管理上の  
ポイントを説明し、その重要性の認  
識を深めた。

おわりに

忠魂碑等の維持管理のモデルとし  
て、「笠岡市古城山公園」の一角に  
ある碑等の集中建立場所を紹介する。  
本公園は、標高約60mの高台にあ  
り、目の前に日本でも有数の笠岡湾  
干拓が展開している眺望の良い所  
で、しかも笠岡駅・市役所・学校か  
ら程近い立地条件に恵まれた所であ  
る。また園内には約400本の桜の  
木があり、花見の時期には市民が賑  
わう場所でもある。



笠岡市古城山公園の碑等建立場所

この公園の一角に、明治31年から  
昭和47年までに竣工された日清戦争

から大東亜戦争に至るまでの、様々  
な慰霊顕彰施設の忠魂碑・慰霊碑・  
招魂碑・戦没者芳名碑、招魂社、そ  
して入口には皇紀二千六百年記念の  
門柱が、それぞれ建立されている。  
この場所の維持管理は、主として  
笠岡遺族連合会が担当されており、  
整備が行届いていて、メモリアル  
ゾーンと呼ぶに相応しい一帯である。  
なお、本公園の慰霊顕彰施設の細  
部については、個々の碑等の現況を  
含め、ホームページ「岡山県偕行会」  
の「備中地区笠岡―」で紹介して  
いる。

## 公営霊園のご案内・建墓工事

## 駅に近い公園墓地のご案内

市川の杜霊園 いちかわ大町霊園

首都圏墓石施工トップクラスの実績  
和泉家石材店にお任せください！

- 墓石耐震を安心の標準施工。
- 10年の墓石保証付き。

コーサイ・サービス  
会員様 特典

墓石工事代  
10~15% 割引  
※一部対象外の墓石があります。



下記 QR コード  
よりアクセスが  
できます。



営業時間：午前9時～午後5時（火曜定休）

ご相談・お申込は  
フリーダイヤル ☎ 0120-10-7331

ホームページ <http://www.izumiya-sekizai.co.jp/>